

… はなの村の四季 …

たわわに実る^{こがね}黄金の^{きんかん}金柑

小 関 栄

寒い風の中でたくさんの実をつけたキンカンの木が揺れている。あたりが枯れ木ばかりなのに、キンカンだけは常緑の葉に包まれた小玉の実が金色に輝き、まさに冬の花だ。

キンカンと同じ柑橘類には、ナツミカン、タチバナ、コウジ、ユズ、レモン、ダイダイ、ハッサク、ブンタン、ポンカン、スダチ、カボス、ナルトなどと実に種類が多い。この殆んどが東南アジアが原産、殊に、インドの北西部のアッサム地方のブラフマプトラ川流域、中国では長江の上流域など温暖な地域に多い。日本でも温暖多雨の静岡、和歌山、愛媛などが主な産地。これらの柑橘は自然交雑、突然変異によって品種がどんどん分化して増えているが、キンカン品種の起源は最も古く、山野に自生していたと云われている。

キンカンの花はミカンと同じく初夏に小さな花が咲き、夏に豆粒ほどの青い実を付け、やがて秋には大きく色付き、そして年越して寒い風に当たると黄金色になる。小さい実であるが、たわわに付けた黄金の実^は実に豪華。果肉は甘酸っぱく微香を放つ。砂糖漬けにしたり甘く煮込んで食べるが、ワイン漬けするのもよい。

キンカンの花言葉は「思い出」。眺めていると幼い頃、寒い日に取って食べ、風邪薬によいとキンカン汁を飲んだ数々の思い出が湧いてきた。

(1月27日の誕生日の花、上の写真はその当日に、わが家の庭で撮影したもの)

キンカンの 黄金に輝く 日和かな 淡水

「倉馬の里」園内道路舗装完了

厳寒の12月14日、朝8時から地元の農家を含め、10名が参加、農道の舗装工事を行いました。(「倉馬の里」関係者 松浦、松井、山崎、川口、藤本)

これは市から生コンが支給され、農道を利用する農家が出合って役務を提供し農道を整備する事業で、これまで10年に亘り周辺の農道を舗装してきました。

行政の財政が窮乏化する今日にあって、結(ゆい)による共同役務提供が連綿と引き継がれていることは、現在に生きる先人の知恵であるとありがたく興味を覚える次第です。

おかげで今回の作業により「倉馬の里」の幹線道路は全線舗装されました。これまで雨が降るとぬかるんで困っていた道路もなくなりました。

地元の農家の方々や行政当局に心から御礼申し上げます。(藤本記)

